

西大和学園補習校 中学部	
国語1 科	1 月 23 日の連絡
9 年	さんへ

※今日の学習内容

「学びて時にこれを習ふ」-「論語」から

※今日の宿題

「アラスカとの出会い」
「温かいスーパ」を読んでくる
卒業文集課題

※来週の予定

「温かいスーパ」

※連絡事項

③

子曰はく、「学びて思はざれば則ち罔し。
思ひて学ばざれば則ち殆し。」と。

Blank rectangular box for student response to question 3.

④

子曰はく、「剛毅木訥、仁に近し。」と。

Blank rectangular box for student response to question 4.

◎自分が一番じいと思つた孔子の教えを書いたものを。

(言葉)

Blank rectangular box for writing the chosen teaching (words).

(理由)

Blank rectangular box for writing the reason for the choice.





西大和学園補習校 中学部

<教科名>国語2

1月23日の連絡

9年

きょう がくしゅうないよう
※今日の学習内容

教科書 p210 から8つの漢字を学びます

●配付したプリントの熟語の学習

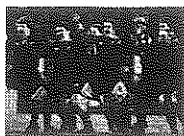
きょう しゅくだい
※今日の宿題

ワーク p38 と 39, 1~13

よてい
※1月30日の予定

教科書 p210 から8つの漢字を学びます

れんらくじこう
※連絡事項





第二十八週目 今週の漢字クイズ

西大和学園補習校 中学部 国語2

年 名前

授業中に学んだ熟語

確かめテスト 第二十八週の漢字

氏名

- 2 随筆を書く。 ()
- 3 漫画を読む。 ()
- 5 二軒隣の家。 ()
- 6 用具を部費で賄う。 ()
- 13 年齢を尋ねる。 ()
- 15 功労者を表彰する。 ()
- 16 玄関の前で待つ。 ()
- 18 別室に控える。 ()

2 **ズイビツ**を書く。

歐びだつたを自由し讀んだ文譯。

3 **マンガ**を読む。

5 **ニケ**隣の家。

6 **用具**を部費で**あか**なら。

13 **ネン**シートを尋ねる。

15 **功勞者**を**シヨウ**にする。

より成績を行つた者は、広く知れお存し。

16 **ゲン**の前で待つ。

18 **別室**にひかえる。

書いて覚える 今週の漢字

宿題

氏名

- 21 生徒を褒める。()
- 22 お言葉を賜る。()
- 23 容赦なく攻める。()
- 2 力を誇示する。()
- 3 慎重に保管する。()
- 8 立派な邸宅が並ぶ。()
- 12 試行錯誤を重ねる。()
- 16 曇り空が広がる。()

宿題

2 力をこする。

得意になつてしめすこと

3 シンチヨウに保する。

注意深い様子

8 立派なテイタクが並ぶ。

12 シロウサクウを重ねる。

失敗を繰り返しながら目標に近づくこと

16 くもりぞらが広がる。

21 生徒をほめる。

22 お言葉をたまねる。

「おの」ゆゑとていふこと

23 目のシヤなく攻める。

無難にのりかへしおぼし



西大和学園補習校 中学部	
9年数学	1月23日の連絡
9年	さん

きょう がくしゅうないよう
※今日の学習内容

教科書 p 163 ~ 164 三平方の定理の逆
教科書 p 165 ~ 167 三平方の定理の利用 (特別な角をもつ直角三角形)

きょう しゅくだい
※今日の宿題

ワーク p 116、117

じしゅう よてい
※次週の予定

教科書 p 168 ~ 169 三平方の定理の利用 (つづき)

来週、今週学んだ内容についての小テストを行います。

れんらくじこう
※連絡事項

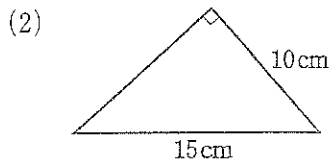
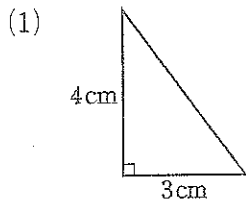
(1) 三角定規、コンパス、分度器を持ってきてください。

小テスト 7章-1

① 次の長さを3辺とする三角形のうち、直角三角形はどれですか。

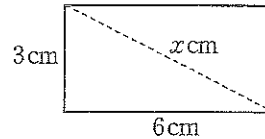
- ㉞ 6 cm, 8 cm, 10 cm
- ㉟ 6 cm, 7 cm, 8 cm
- ㊱ 1 cm, $\sqrt{2}$ cm, $\sqrt{3}$ cm
- ㊲ 0.5 cm, 1.2 cm, 1.3 cm

② 次の直角三角形で、残りの辺の長さを求めなさい。

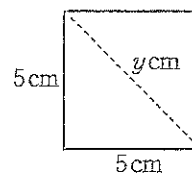


③ 次の図で、 x , y の値を求めなさい。

(1) 長方形



(2) 正方形





西大和学園補習校 中学部

<教科名> 社会

1月23日の連絡

7~9年

きょう がくしゅうないよう
※今日の学習内容

教科書 p.202-209

きょう しゅくだい
※今日の宿題

教科書 p.210 ~ 215 の音読と語句トトイ成
問題集 地理 2 p.62 ~ 68

※ 1月30日^{よてい}の予定

教科書 p.210 ~ 215

れんらくじこう
※連絡事項



西大和学園補習校 中学部	
理科	1月23日の連絡
年	さん

※今日の学習内容

教科書（サイエンス1） p 64～71 地震のゆれはどのように大地を伝わるのだろうか
ワーク p 33～35

※今日の宿題

ワーク（理科の学習1） p 33, 36, 48

※次週の予定

教科書（サイエンス1） p 72～73 地震はどのようにして起こるのだろうか
教科書（サイエンス1） p 78～80 地層はどのようにしてできるのだろうか

※連絡事項

1月から、またサイエンス1の教科書を使います。
サイエンス1の教科書とワーク（理科の学習1）を持ってきてください。

地震が発生した時刻を求めよう！

例題 次の表はある地震が発生した際のA・B地点の震源からの距離と、P波・S波が到着した時刻を表したものである。下の問いに答えなさい。

地点	震源からの距離	P波の到着時刻	S波の到着時刻
A	50km	8時23分30秒	8時23分40秒
B	100km	8時23分40秒	8時24分00秒

(1) P波の速さを求めよ。

考え方 A地点からB地点までの距離は $100\text{km} - \underline{\quad\quad} \text{km} = \underline{\quad\quad} \text{km}$ 。P波の到着時刻の差は10秒なので、 $\underline{\quad\quad} \text{km} \div \underline{\quad\quad} \text{秒} = \underline{\quad\quad} \text{km/秒}$ 答： $\underline{\quad\quad} \text{km/秒}$

(2) この地震が発生した時刻を求めよ。

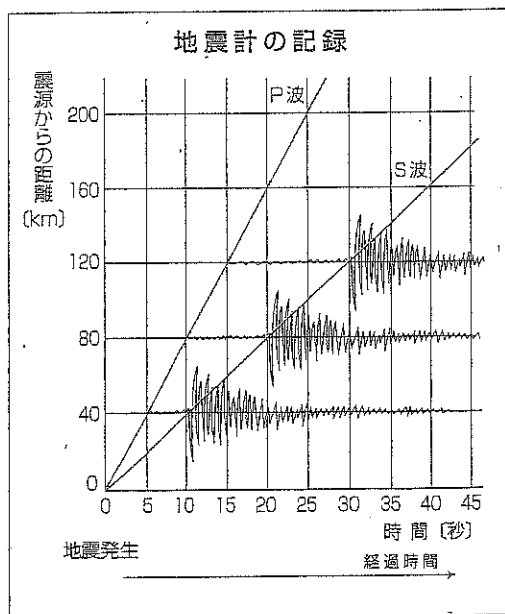
考え方 A地点は震源からの距離が50km。また、P波の速さが(1)より $\underline{\quad\quad} \text{km/秒}$ なので、地震が発生してからA地点にP波が到着するまでにかかった時間は、 $50\text{km} \div \underline{\quad\quad} \text{km/秒} = \underline{\quad\quad} \text{秒}$ 。よって、地震が発生した時刻は、A地点にP波が到着した時刻(8時23分30秒)の $\underline{\quad\quad}$ 秒前ということなので、地震が発生した時刻は、8時23分 $\underline{\quad\quad}$ 秒となる。

答： $\underline{\quad\quad\quad\quad}$

(3) B地点の初期微動継続時間を求めよ。

考え方 初期微動継続時間は、S波が到着した時刻からP波が到着した時刻を引き算することと求める。 $8\text{時}24\text{分}00\text{秒} - 8\text{時}23\text{分} \underline{\quad\quad} \text{秒} = \underline{\quad\quad} \text{秒}$ 答： $\underline{\quad\quad} \text{秒}$

問題 2 下の図はある地震が発生したときの各地の地震計の記録をグラフにまとめたものである。このグラフを利用して次の問いに答えなさい。



(1) P波の速さを求めよ。

ヒント グラフより震源から40kmの地点に伝わるのに5秒かかる。 $\underline{\quad\quad} \text{km/秒}$

(2) S波の速さを求めよ。

ヒント グラフより震源から40kmの地点に伝わるのに10秒かかる。 $\underline{\quad\quad} \text{km/秒}$

(3) 40km地点の初期微動継続時間を求めよ。

ヒント グラフより到着時刻の差を読みとる。 $\underline{\quad\quad} \text{秒}$

(4) 120km地点の初期微動継続時間を求めよ。

$\underline{\quad\quad} \text{秒}$

(5) 120km地点の初期微動継続時間は、40km地点の初期微動継続時間の何倍か。 $\underline{\quad\quad}$ 倍

(6) (5)のことから、震源からの距離と初期微動継続時間には、どのような関係があるといえるか。

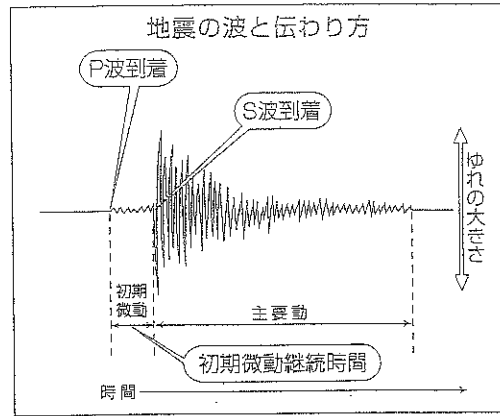
地震の波と伝わり方

地震が発生すると2種類の速さのちがう波が発生し、まわりに伝わります。

最初に発生する小さなゆれが初期微動(P波によって伝わる)で、初期微動がしばらく続いた後にくる大きなゆれが主要動(S波によって伝わる)である。

P波とS波の到着時刻の差を初期微動継続時間といいます。

右の図は地震が発生した際にある地点で観測された地震計の記録です。

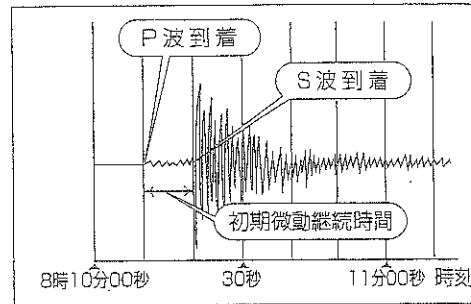


グラフから読みとろう!

問題) 1) 右の図から次の数値を読みとりなさい。

- (1) P波が到着した時間 _____
- (2) S波が到着した時間 _____
- (3) 初期微動継続時間 _____ 秒

ヒント 到着時刻の差を求めろ。



波の速さを求めよう!

例題) 上の図で、地震が発生した時刻は8時10分00秒、震源からの距離は80kmであった。この地震のP波とS波の波の速さを、それぞれ求めなさい。

Point! ここで確認!

速さの求め方

速さ = 距離 ÷ 時間

- (1) P波の速さの求め方
 - 震源からの距離…… _____ km
 - 地震発生時刻からP波が到着するまでの時間…… _____ 秒
 - 速さ = 距離 ÷ 時間 = _____ km ÷ _____ 秒 = _____ km/秒
 - 答: _____ km/秒
- (2) S波の速さの求め方
 - 震源からの距離…… _____ km
 - 地震発生時刻からS波が到着するまでの時間…… _____ 秒
 - 速さ = _____ km ÷ _____ 秒 = _____ km/秒
 - 答: _____ km/秒

Point! グラフや問題文から“震源からの距離”と“地震が発生してからそれぞれの波が到着するまでにかかった時間”をさがし出そう。あとは公式にあてはめて計算すると、速さがでてくるよ。

速さを計算すると、答えは必ずP波の速さの方がはやくなるよ。